東京科学大学卓球部（女子）2025年度秋期5部リーグ戦観戦記録

於：2025年9月14日東京科学大学体育館

東京科学大学 対 創価大学 1番 馬対楠

第1セット

馬のサーブで 試合開始。幸先よく2連続サービスエースでスタート 。相手のミスもあり6対2でリード。馬の3球目スマッシュが決まり 7対4。最後は締めて、11対8で1セット目先取。

第2セット

出だしはサーブで取り合って、2対2。馬のスマッシュが決まり、6対5。楠も奮起して、8対6と逆転された。馬はそのまま押し切られ、9対11で惜しくも 第2セットを落とす。

第3セット

馬、再びサービスエースでリード。序盤は2対2でスタート。再び馬のサービスが決まり 6対4とリード。相手のミスも出て10対4とリード。そのまま押し切って 11対5でセットカウント、2対1に。

第4セット

楠のスマッシュが入り出しており、前半は3対4。馬が粘って 4対4に持ち込む。相手のミスも少なくなり、7対9。そのまま押し切られ、セットカウント2対2。

第5セット

楠のミスが出て、3対1とリード。馬のサービスエースが決まって、7対4とリード。馬のバックハンドが大事なところで決まり、9点目をもぎ取る。タイムアウトの後、楠のミスが出て1点目先取。

東京科学大学 対 創価大学 2番 都対宮本

第1セット一進一退スタート。お互いの決定ではなく7対8。しぶとく ジュースに持ち込む。ツッツキで粘り勝ち 12対10で1セット目先取。

第2セット

ツッツキで粘り勝ち 前半リード。中盤も粘り勝ち 9対8。そのまま 11対9で押し切って 2セット 連取。

第3セット

粘り合いでスタート。サーブやスマッシュは相手の方に1日の長があるが ツッツキの粘りは都優勢。都のスマッシュ決まるも、宮本にミスが少なくなり 7対11で落とす。セット カウント 2対1。

第4セット

いきなり都 サーブミス。宮本のサーブ決まり 相手優勢。5対10。そのまま5対11。セット カウント2ー2。

第5セット

宮本のミスが出て1対0とリード2回目は宮本のスマッシュ決まり 1対1。5対3とリードして チェンジコート。エッジ入って9対9。宮本にスマッシュを決められ9対10。最後はツッツキのミスが出て終戦。

東京科学大学対創価大学3番ダブルス張馬組対斎田楠組

第1セット

出だし 創価組のサーブ 3球目が決まり、0対2。張のサービスエース、馬の攻撃ミスで、1対3。張の3球目スマッシュ、張＆馬の連続攻撃決まり、10対6と 逆転。そのまま押し切って、11対6で1セット目先取。

第2セット

創価組の攻撃決まり、1対3とリードされる。馬のドライブ決まり、5対5の同点。その後、創価組にドライブを狙い撃たれ、5対10。そのまま押し切られた。

第3セット

創価組のサービスで試合開始。相手にスマッシュを決められ、0対2とリードされるも2点取って2対3。1セット目と違って相手のミスがあまり出ない。張が素晴らしいスマッシュを決めて、3対4。張のバックハンドが決まり、6対6。創価組にミスが出て、7対6と初めてリード。馬のサービス決まり、9対7とリード。最後は馬のドライブが炸裂し、11対8で大事な3セットを取った。

第4セット

張のサービスエースで1対0。馬のドライブが連続炸裂し 7:3 と リード。創価ベンチたまらず タイムアウト。斎田のサーブで試合再開も、馬のドライブ 決まる。9対3。張の必殺サーブで10対4。最後は 創価のツッツキミスで試合終了。

これで東京科学大学 2対1とリード。

東京科学大学対創価大学4番張対石田

第1セット

相手の 石田はカットマン。張のドライブ 決まり 5対2とリード。バックハンド 決まって 9対6。そのまま押し切って 第1セットを先取。

第2セット

出だしリードを許すも、相手のカットを打ち破るドライブが決まり、4対3と逆転。連続攻撃も決まり、あっという間に9対6。そのまま押し切って2セット連取。

3セット目

創価石田に調子が出て10-7と粘られるも、最後は張ドライブが炸裂し 3点目ゲット。

東京科学大学対創価大学 5番山辺対斎田

第1セット創価大学斎田のスマッシュミスドに1対0 リード。創価斎田にドライブを決められる4対8とリードを許す。そのまま押し切られて 第1セットを落とす。

第2セット出だしは 創価大斎田にミスが出て3対1とリード。斎田の攻撃が決まりだし4対8と逆転された。終盤は斎田のスマッシュ ミスによりジュースに持ち込んだ。最後はスマッシュを2本 決められ 10対12で 第2セットも落とした。

第3セット

完膚なまでに打ち砕かれ0-10に。その後 2点取るも 2対11で敗戦。

東京科学大学対成城大学1番大河内対井上

第1セット

相手の 井上は5部と思えないぐらい強い。 あっという間に1対5。5対10まで追い上げるものの 1セット目を落とす。

第2セット

井上のスマッシュが、ますます冴えわたる。1本ミスしてくれたが1対3。ツッツキで食らいつくも、スマッシュを決められ4対10。そのまま押し切られ、2セット目も失う。

第3 セット

ツッツキでくらいつくも、3対5。最後は強烈なスマッシュで4対11。

東京科学大学 対 成城大学 2番馬対松本

第1セット

馬は着実に得点を重ね ドライブも決めてあっという間に9対1。そのまま押し切って1セット目先取。

第2セット

馬のドライブがまたも炸裂し、あっという間に8対2。そのまま押し切って 11対3で王手。

第三セット

馬のドライブが安定して入り 5対0。その後も リード 広げ10-4。最後のフォアクロスのドライブを決め ゲームセット。

東京科学大学対 成城大学 3番 ダブルス馬張対斎田鈴木

第1セット

成城が果敢に攻めるもミスも出て、3-3で食らいつく。相手にミスがなくなり5対8に離される。

サーブのミスも出て 4対10。そのまま押し切られる。

第2セット

成城のスマッシュにドライブで対抗し4対4。成城にスマッシュを決められ、5対11で第2セットも落とす。

第3セット

ツッツキで食らいつくも1ー3。またも成城の強打が炸裂して3対9。4対11でゲームセット。

東京科学大学対 成城大学 第4試合張対鈴木

第1セット

ダブルスで圧倒的強さを見せた 成城だが4番の張は、うまく さばいて 3対1とリード。上手い試合運びで5対2 とリードを広げる。フォアクロスのカウンターも決まり7対3。冷静な試合 運びで9対4。ネットインがあって10対5。またも 鈴木の打ちミスが出て、大事な 第1ゲームを先取。

第2セット

第1サーブで3球目バックハンドを決め、幸先良いスタート。序盤は2対2の一進一退。またも張の3球目のバックハンドが炸裂し 3対3。鈴木のサービス5対6とリードを許すも即座に追いつく 6対6。8対9からサービスエースで追いついて 9対9。最後まで冷静に戦い切って 11対9で再びセットを取る。

第3セット

第3セットに入っても、強打の鈴木と冷静な試合運びの張の綱引きは変わらず、5対5。張が6対5としたところで、成城大学堪らずタイムアウト。タイムアウト後の1本も、フォアクロスのカウンターでもぎ取る。相手のミスも出て 8対5。最後まで冷静さを失わず 11対7で勝利。よくやった!!!

東京科学大学対成城大学5番都対小滝

第1セット

サービスが聞いて 2点 先取。くっつきからうまく 攻めて8対5でリード。サービスエースで9対5。相手のミスもあり11対5で先取。

第2セット

ツッツキ対ツッツキ打ちの対決。相手の方ミスが多く8対5とリード。ジュースまで持ち込まれるも、最後は小滝が自滅し、12対10で第2セットももぎ取る。

第3セット

都のスマッシュが炸裂し 6対0でリード。成城ベンチ、堪らずタイムアウト。相手のスマッシュも時々入るが10対3でマッチポイント。 そのまま相手のミスが出て、11対3で都 勝利。

東京科学大学対山梨大学1番は山梨大学がメンバー不足により棄権

東京科学大学対山梨大学2番馬対浅田

第1セット

エース同士の対決は馬のバックハンドが冴えて、4対2とリード。再び バックハンドが入り7対4。そのまま押し切って 11対6で1 ゲーム目先取。

第2セット

序盤リードされるものの、サービスエースで追いついて、4対4。8対9から豪快なドライブが決まり 9対9。浅田の攻撃が入り、惜しくも 9対11で落とす。

第3セット

浅田のドライブが炸裂し0対2とリードされる。ドライブの打ち合いは安定感では浅田 優勢。3対6とリードされる。点差縮まらず 5対10。そのまま押し切られセット カウント 1ー2とリードを許す。

第4セット

浅田のドライブは安定しており、1対4とリードを許したところで東京科学大 タイムアウト。タイムアウト明け後の1本は、レシーブからのドライブを狙い打たれ、失点。後も続かず4対8。まま押し切られ 5対11で終戦。

東京科学大学対山梨大学３番ダブルス張馬組対浅田谷渡組

第1セット

出足3球目が入らず 0ー3でリードされる。浅田のバックハンドを張がしのぐも3対8。そのまま押し切られ 5対11で1セット目を失う。

第2セット

出足良くサーブで2対0とリード。浅田のサーブで 4対4に追いつかれる。その後お互いに点を取り合い7対7。8対10とリードされて苦しかったが 浅田のミスを誘い10対10に追いつく。粘り強く 返球し14対12で2セット目を取った。

第3セット

お互いいいボールで点を取り合って2対2。２対５と離されたところでタイムアウト。残念ながらタイムアウト後の大事な1本を取られ、2対6。そのまま押し切られ、4対11で第3セットを失う。

第4セット

出足は慎重に繋ぎ 2対2で5分。相手のドライブの方が安定感で勝り、4対6とややリードを許す。5対10までリードを広げさせられ一点返すも11対6で敗れた。

不戦勝入れて1対2に。

東京科学大学対山梨大学４番張対谷渡

ダブルスで初勝利を挙げた谷渡。張が意地を見せ優勝に花を添えられるか?すでに 優勝は決定しているが本日の最終試合（第5試合を先に実施）。

第1セット

出足はドライブとバックハンドで点を取り合い2対2。谷渡の上回転のサーブがうまく処理できず4対7とリードを許す。最後まで上回転のサーブの処理に手を焼き、8対11で落とす。

第2セット

上回転のサーブの処理ができるようになり、前半は 5対5で一進一退。谷渡のサーブで2点取り、8対6でリード。 相手の上回転をうまく処理して 11対6で取り返した。 1セット目よりもはるかに処理が上手くなり、3セット目以降は期待できそう。

第三セット

相手のサーブをうまく処理して3対0。相手にネットインがあり 3対4。もうほとんど サーブが効かない。 ただし 相手のスマッシュも入り始めてきているから要注意。お互いのいいところが出て一進一退、7対7。更に、お互いの良いとこが出て点を取り合い、

ジュースに。張も頑張ったが 11対13で 第3セットを惜しくも 落とした。

第4セット

張のドライブが決まり 4対1とリード。谷渡のスマッシュが2本決まり、4対4のタイに。6対9とリードされたところで堪らずタイムアウト。そのまま押し切られ 7対11 で終戦。

東京科学大学対山梨大学5番都対春田

第1セット

都のサーブが効いて4対1とリード。フォアハンドも入り順調に得点を重ね、8対2とリード。そのまま押し切って、11対3で1ゲーム先取。

第2セット

出だしは一進一退。お互い ミスが出て3対4。都のミスが続き 8対10。最後は 粘って10対10に追いつく。粘って2ゲーム目ももぎ取り、王手。

第3セット

2ゲーム目と異なり 都にミスが多く 4対6とリードされる。ここでうまくつないで 6対6に追いつく。そのまま一進一退のゲームを続けたが、最後は11対9で見事勝利をあげた。